

若者が地域を組み直す

わかもののまちをつくる。



若者プラットフォームやいぱる

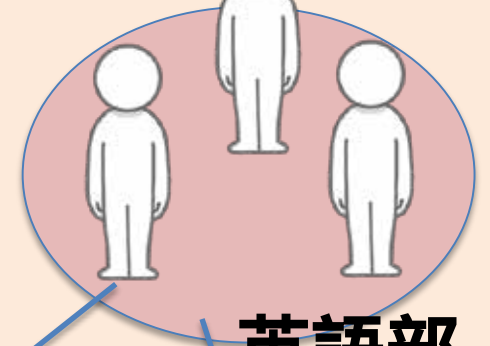


ユースコーディネーター

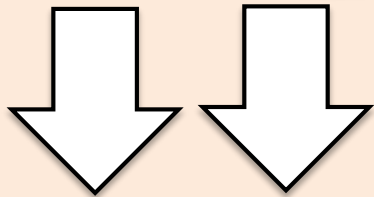


NPO

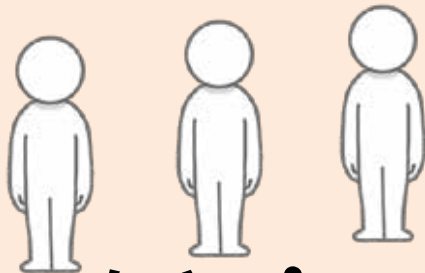
ALT



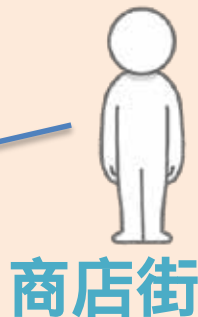
英語部



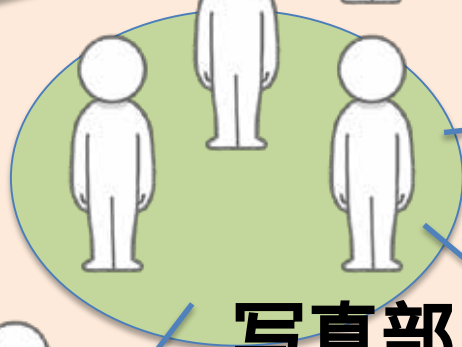
予算分配



自主プロ
地域連携等



商店街



写真部



市役所



自治会



地元企業

- 5年後のビジョン

わかもののまちをつくる。



若者ぷらっと
ホームやいぱる



市内9箇所に
ユースセンターをひらく予定です。

LYC

Japan Local Youth Council Project



スウェーデンにあった社会を変える仕組み

- ・ウォータースライダー祭り
- ・公共交通機関の無料化



出典：ヨーテボリ市ユースカウンシル

– 日本ローカル・ユースカウンスル プロジェクトとは？



ユースカウンスル とは？

「若者が自分たちで

自分たちのまちをつくるための仕組み」

= 若者議会、若者協議会、若者会議



国レベル

非公式

公式

今回は
ここを対象に。

地域レベル



若者が自分のまちを変える方法をまとめた 「わかもののまちのつくり方」ハンドブック が完成！

【検討委員】

安部芳江（工学院大学 准教授）

川中大輔（龍谷大学 講師）

両角達平（文教大学生生活科学研究所 研究員）

【全体アドバイザー】

宮本みち子（放送大学 名誉教授）



ーハンドブックの構成



日本のすべての若者たちに、
あなたのまちを変える方法と
その考え方を伝えたい

Step1 仲間を集めよう！

Step2 みんなで話そう！

Step3 活動を始めよう！

Step + さらに活動を広げよう！



スウェーデンから学ぶ、 わかもののまちのつくり方



わかもののまちのつくり方フォーラム



静岡会場



京都会場



東京会場

全国3会場でフォーラムを開催



わかもののまちのつくり方

子ども・若者参加政策と実践のためのポータルサイト

まちづくり 政治参加 ▾ 子どもの遊び 海外事例 ▾ このHPの運営団体

スウェーデン ヨーテボリにおける若者の声、ヨーテボリ市ユースカウンスル：LYCフォ

まちづくり 若者がつくる若者政策、新城市若者議会の成り立ち

ドイツ 若者のボトムアップで始まったドイツの模擬選挙、学校外で投票シミュ

スウェーデン ヨーテボリにおける民主主義と若い市民の参加：LYCフォーラム 講演録1

ドイツ 【ドイツの視察スライド】ドイツから学ぶ、遊び・文化・教育の力

ドイツ ドイツの学校から学ぶ政治的中立性の実現（ドイツレポ vol.2）

ユースセンター

若者がつくる若者のための拠点、若者ぶらっとホームやいばるの設置プロセス

子ども・若者の居場所は大人の押し付け？ 約1年間準備をしてきた焼津駅前の若者の地域活動拠点が、今年の2月にオープンすることになりました。子どもや若者の居場所施設は児童館等をはじめ各地にあります。本当の意味で若者の居場所に...

サイト内を検索

「わかもののまちづくり方」ハ

わかもののまちのつくり方

子ども・若者参加政策と実践のためのポータルサイト

<http://cypart.info/>



「子ども議会」「若者議会」 に関する全国自治体一斉調査



遊佐町少年議会



新城市若者議会

早稲田大学卯月研究室と共同調査

- 5年後のビジョン

わかものまちをつくる。



静岡市に若者の意見を届け、若者の力でまちを
変えるためのわかもの会議（ユースカウンスル）
をつくります。

-5年後の3つのビジョン

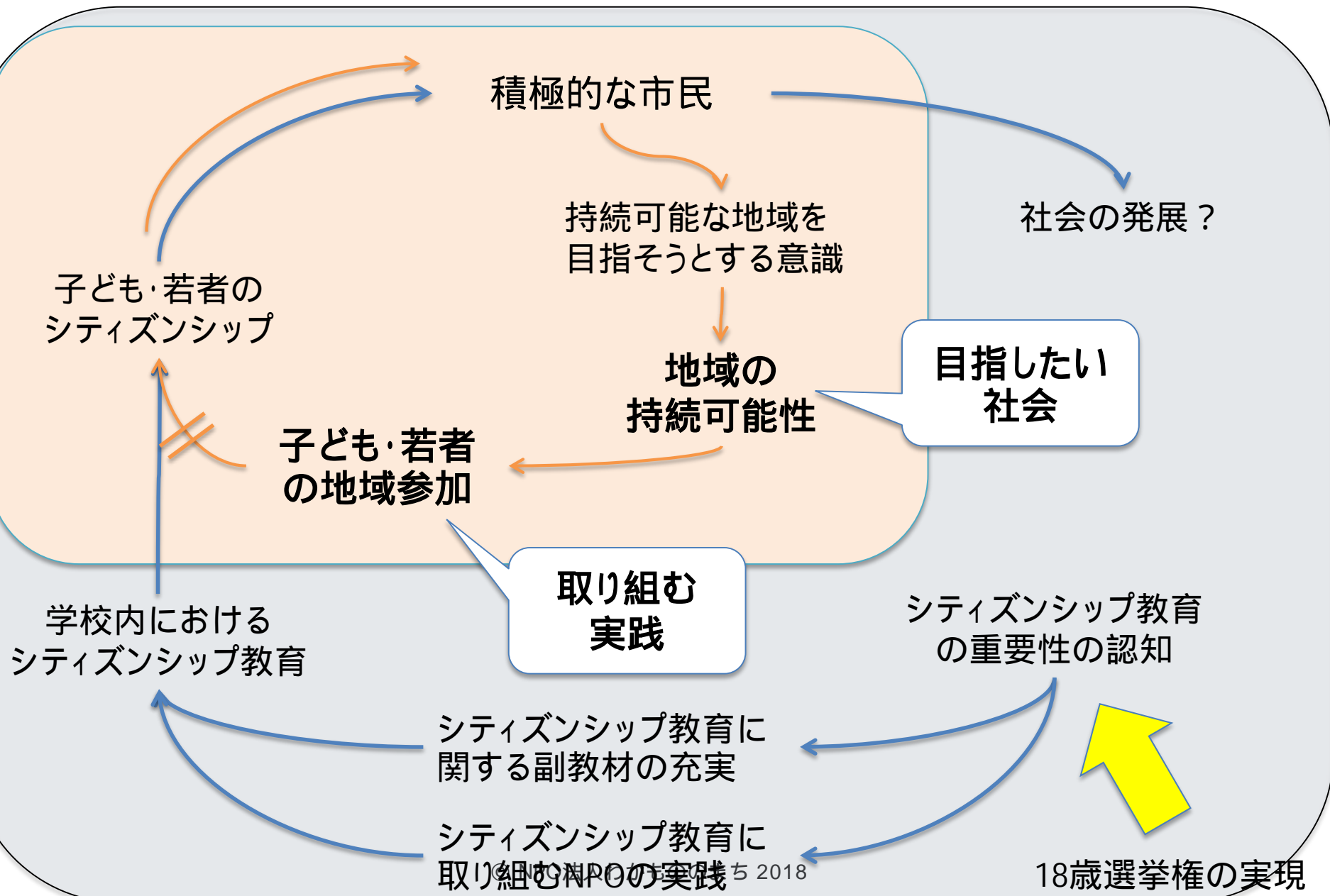
わかものまちをつくる。



1. 焼津市内9カ所にユースセンターをつくりまします。
2. 静岡市に若者の意見を届け、若者の力でまちを変えるためのわかもの会議（ユースカウンスシル）をつくりまします。
3. 全国の5つ以上が自治体で”わかものまち”づくりに取り組み始めまします。

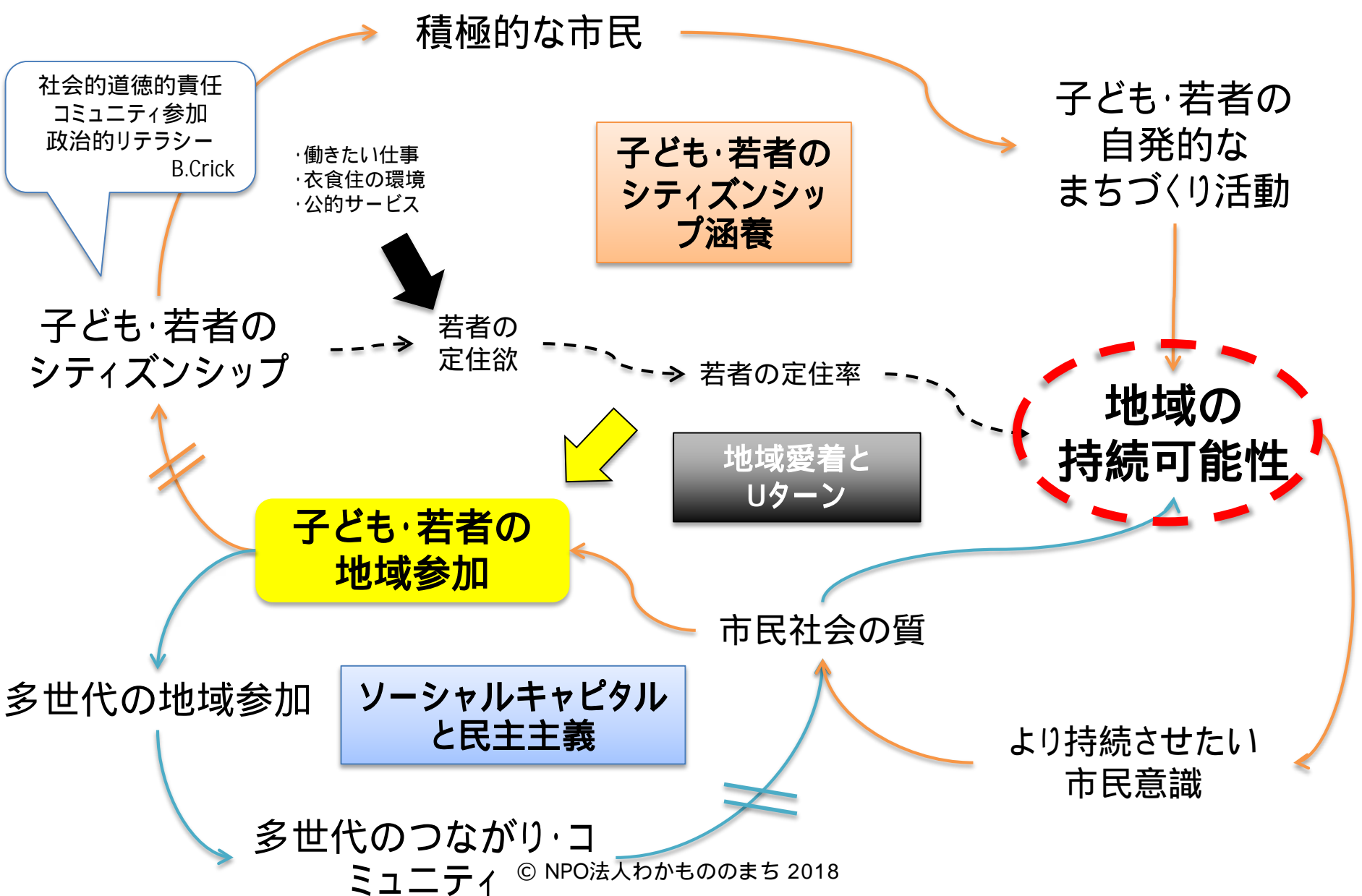
－わかもののまちの射程

わかもののまちをつくる。



子ども・若者の参加が地域にもたらす影響

わかものまちなみ



子ども・若者の参加が 地域にもたらすもの。

わかもののもちをつくる。

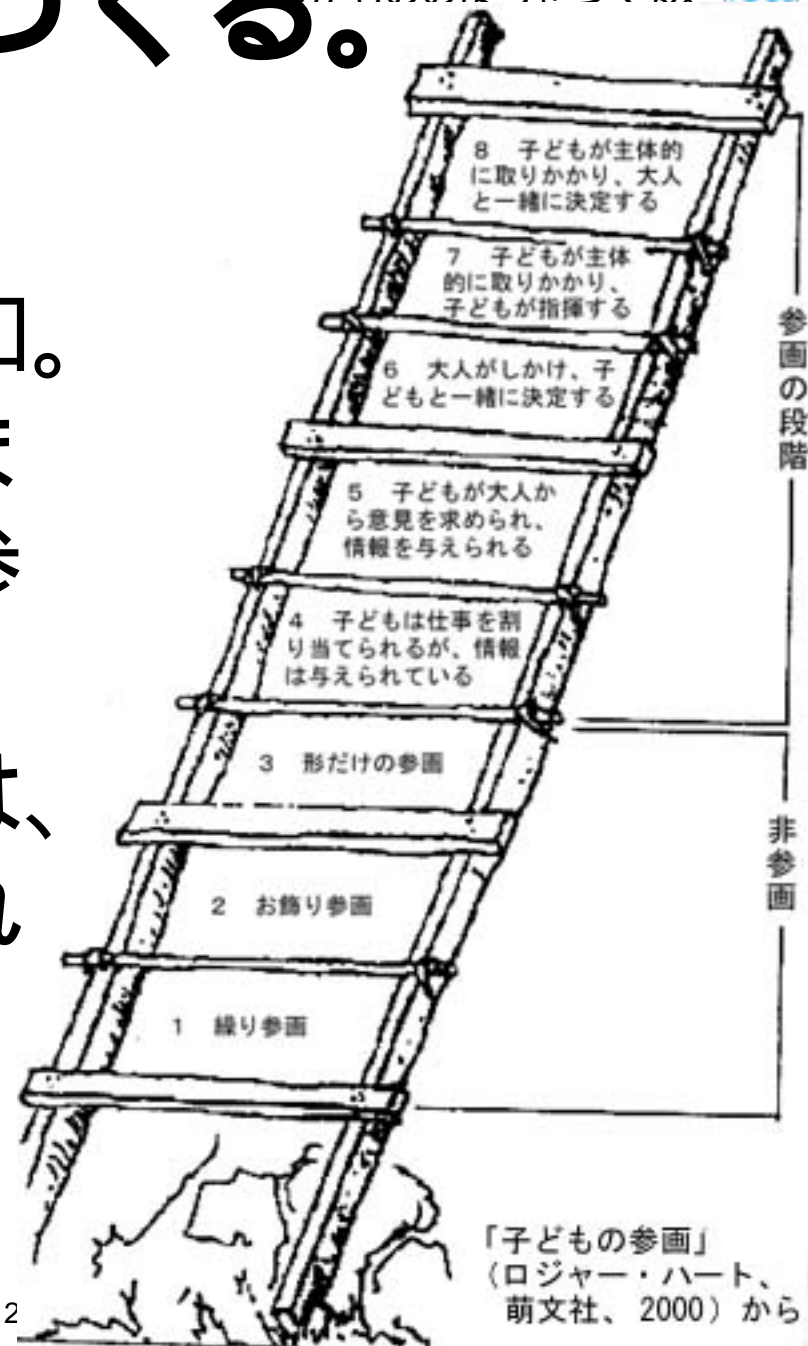


- 子ども・若者の**シティズンシップ**を育む
 - 市民としての権利、他者との関係性、政治的リテラシー、地域への愛着心
- **大人の地域参加**を促す
 - 保護者、高齢者、地域の大人をつなぐ
 - 大人も育つ
- 子ども・若者の**視点に学ぶ**
 - 子ども・若者にしか気づけない視点に学ぶ



実態のある参加をつくる。

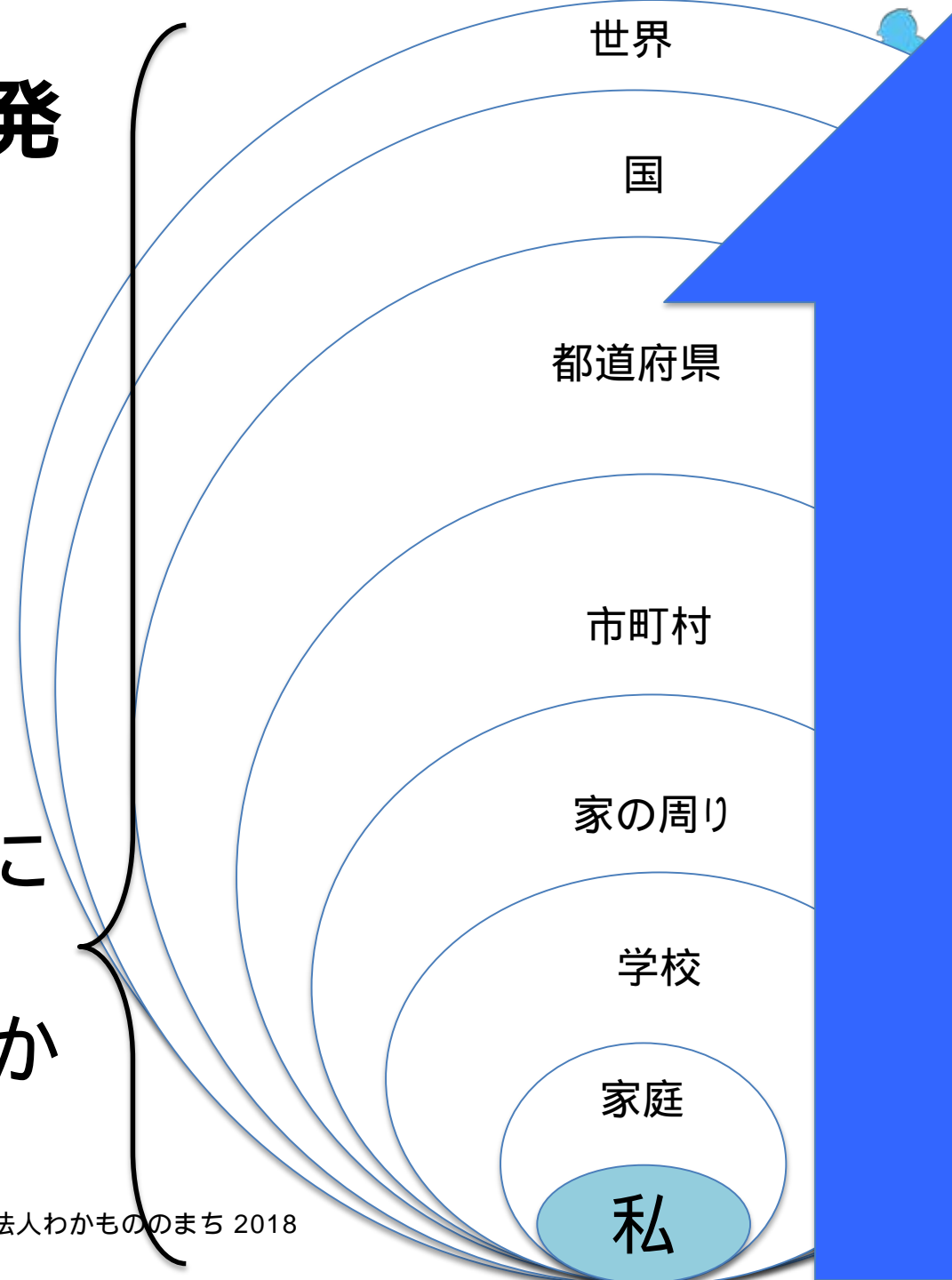
- 目指すべき参加は、**意思決定段階**への参加。
- 大人の真似っこ、おままごと参加、形式的参加は不要。
- **子ども・若者らしさ**は、どのように引き出されるか？



公共は常に「私」発

私を広げる参加

この距離をどのように
つなげられるか。
まずは**私**に近いことから。





子ども・若者の参加の基本的な課題

- 参加をどのように**開く**か。
 - 参加するのは一部だけ？
 - 直接的参加、間接的参加をどのように開くか。
- **参加のコーディネーション**をする専門性
 - ドイツでは、子ども・若者と関わる大人のためのトレーニングが盛んに行われている。
- どの**段階**からの参加をつくるか。
 - 制度設計？プログラム？プロジェクト？
 - ステップバイステップのアプローチ



人口減少時代の子ども・若者の参加

- UIターン支援では手遅れ、**早い段階**（小中高生世代）からの地域参加を。
- ステップバイステップの参加実践！
- 本当の成果は**10年後**。
 - 人口減少社会だからこそ、子ども・若者の参加を！
 - 子ども・若者の声に学ばない地域はこれから消滅する。

前提として、地域に参加することは、子ども・若者の市民としての権利である。

僕らの活動が目指すもの

わかもののまちをつくる。



私たちの活動の目的は、
若者がまちづくりに参加することではなく、
若者が普通に参加できるまちをつくりだすこと。
若者の参加の支援ではなく、
「わかもののまち」の生態系をつくる活動。



ピーター・パン 世界からの脱出



実社会に参画する枠組みとしての
子ども・若者参加の実現を！



消滅可能性都市？



これからも長く生き続ける**若者**が
自分たちの**未来**を
自分たちで創ることができる**社会**。



**子ども・若者がアクティブに
地域参画するまちは、
未来の**発展可能性都市**である！**